

第四十四回帝國議會
衆議院

公有水面埋立法案委員會會議錄(速記)第三回

會議

大正十年三月五日午前十時四十五分開議

出席委員左ノ如シ

小山田信藏君 栗林 五朔君 土屋 興君
樋口伊之助君 毛里保太郎君 松山常次郎君
淺石 惠八君 吉原祐太郎君 磯田糸三郎君
淺野 順平君 吉川吉郎兵衛君 高木 正年君
高柳覺太郎君 岡本 幹輔君 南 鼎三君
出席政府委員左ノ如シ

內務次官 小橋 一太君
農商務省水產局長 堀田 貢君
村上 隆吉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
公有水面埋立法案

○委員長(小山田信藏君) 是ヨリ開會致シマス、吉原君水產局長ガ出席ニナリマシタカラ、御質問ヲ：

○吉原祐太郎君 私ヨリ高木君ノ方ガ水產局長ノ方ヘ何カ

○委員長(小山田信藏君) ア、サウデシタカ、今高木君ヲ呼ビニヤリマシタ

○吉原祐太郎君 其前ニ私ガ伺ヒマシテモ宜シウゴザイマスカ

○委員長(小山田信藏君) ドウカサウ願ヒマセウ

○吉原祐太郎君 此法案ニ就テ埋立ト干拓ハ宜シイコトニナツテ、養魚池ナルモノ、地目ハ地租條例ニモ無シ、且ツ埋立法デモイケナイト云フヤウナコトニナリマス、折角發達シカケマシタ養魚場ニ就キマシテハ、展ビルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ始末ニナル、ソレ故ニ養魚場ナルモノハ何等カノ方法ガ設ケラル、ヤ、或ハ此儘デ展ビルコトガ出來スカト云フコトガ第一ノ疑問デアリマス、水產局ノ方ニ於キマシテハ、此養魚場ナルモノヲ埋立ノ方ノ範圍ニ御認ニナラヌカ、ナルカト云フノガ、第一ノ問題デアリマス

○村上政府委員 只今ノ御尋ニ御答致シマスガ、此水產當局ト致シマシテハ、海面ヲ埋立テ、養魚場ヲ造リマシテ、鰻トカ鰻トカト云フモノ、養殖ヲ行フト云フコトハ、非常ニ望マシイコトナノデアリマス、從來ノ取扱ニ於テ、思フヤウニ行カナカッタ點モ色々アリ、ソレノ研究ニシテ、如何ニシテ宜シイカト云フ事ニ就テハ、養魚場ト云フモノガ約七八百町歩アルト大體計算シテ居リマス、將來モズト殖エルト思ヒマス、其取扱方ニ就テハ、適當ノ機會ニ完成シタイト思ツテ居リマス

○吉原祐太郎君 本法デ彼ノ海面ニ向ヒマシテ築造致シマシタ養魚池ナルモノハ、此埋立或ハ干拓ト云フ方ノ方法デ參リマスルガ、如何ニモ此法律ダケデハムヅカシイヤウニ思ヒマス、水產ノ發展ノ上ニ非常ナ關係ガアル、今迄モ同ジヤウナ歩ミ方デ一旦埋立ヲシ、サウシテ其土ヲ取退ケテ、初メテ養魚池ヲ造ル斯ウ云フ問題ニナリマス、其埋立テマス方法目的、是ガ地租條例ノ趣旨ニ適ツタモノト云フヤウナ目的ノ爲メニ埋立ヲ許スト云フコトニナリマス、養魚池ノ如キハ全然埋立ノ方法ガ出來ヌヤウニ思ヒマス、其邊ノ御研究ハ如何ニアラセラレマスカ

○村上政府委員 私ガ此公有水面埋立法案ノ内容ヲ承知シマシタトキハ、既ニ大分經過シテ居ッタトキデアリマス、併シ尙ホ養魚上ノ利益ヲ圖ルガ爲メニハ、埋立ト云フ字デノ解釋ニ依ツテ、或ハ都合ガ付キハシナイカ、海面ニ對シテ外廓ノ堤防ヲ築クコトハ、或意味ニ於テ純然タル埋立ヨリハ寧ろ堅固ニシナケレバナラヌト云フノハ、外廓ノ堤防カラ海水ガ知ラナイ間ニ染込デハ、養魚ノ本當ノ技術的ノ目的ヲ達セラレナイト云フ事情ガアリマシテ、外廓ハ非常ニ堅固ニ埋立ヲスル、却テ堅固ニスルト云フ位デアリマス、成程外廓ノ内ニハ、魚ヲ飼フノデアリマスカラ、水ハアリマスケレドモ、其水ハ矢張深ク掘込デスルモノモアレバ、又多少埋メルコトモアリマスサウ

云フ外廓ヲ造ツテ、サウシテ相當ナ埋立ガ出來ヤシナイカト云フ積リデアッタノデアリマス、併シ其ノ解釋ガムヅカシイト云フヤウナ御話デアリマスカラ、果シテ此法律ガ成立シタ後ニムヅカシイト云フコトナレバ、此養殖關係ノ問題ハ、單ニ埋立ノ問題若クハ養魚池ノ造成ト云フ問題以外ニ澤山アリマスカラ、隨テ養殖ニ關スル特別ノ法規ヲ制定スルト云フコトニ依ツテ、解決シタラ宜カラウト考ヘテ居ッタノデアリマス

○吉原祐太郎君 只今ノ御答辯ニ依リマス、此法ヲ捨テ、置イテ他ノ方法ヲ求ムルト云フコトデアリマス、公有水面ノ埋立カ或ハ干拓ト云フコトニ就キマシテハ、此法律デアルト云フコトハ隨分至難ナ話デアリマスケレドモ、法律デ何等カ解決ノ著キマシヤウナ手段方法ハナイカ知ラヌト云フノガ私ノ希望スル點デアリマス、尙ホ他ニモ斯ウ云フ風ナ問題ハアリハセスカト思ヒマスルガ、內務省ノ方ニ於キマシテハ、此埋立ナルモノハ、地租條例ノ目的以外ニ大キナ仕事ガ何カ御氣付ノ點ガナケレバナラヌト思フ、養魚池ノ類ノヤウナモノニ致シマシテ、海面ハドウシテモ十分ナ施設ヲシテ、飼養シナケレバナラヌ其場合ニハ、此埋立法ニ依ツテハ出來ヌト云フコトハ明カデアアル、養魚池ノ如キモ、内部ニハ成程立派ナ埋立デゴザイマスルガ、堤防ヲ築キマス真中ノ肝腎ナ飼養致シマスル面積ハ、埋立モ何モ致シマセヌ、却テ掘ル位デアリマス、埋立ト云フコトニナリマス、此目的ト違ツテ居リマス、ソレデ埋立ト認メルト云フ條項デモ這入リマスレバ宜シイカ、此點ハ甚ダ遺憾ナ點ガアルト思ヒマス

○小橋政府委員 昨日來御尋ノアッタ養魚上ノ問題デスガ、是ハ本案ヲ審議スル際ニモ一應問題ニナツタノデアリマシテ、是ハ相當法律ノ力ヲ以テ保護スベキヤ否ヤト云フコトモ研究シマシタガ、併シ埋立法ノ本旨トシテハ陸地造成ヲ目的トスル、即チ今御尋ノヤウナ場合、養魚場ノ堅牢ナ設備ヲシテ、非常ナ値

アルモノニナツタ場合ニ、是デ宜イト云ウ様ナ考ガナ
カッタ、研究致シマシタガ、併シ段々御意見モアルヤ
ウデ御尋ガアリマスルガ、養魚池ノ設備構造其他ニ
於テ、相當ニ保護スベキ程度ノモノ、唯ダ、柱ヲ立テ
テ海面ヲ所有シテ居ルノハ甚ダ面白クナイト思ヒマ
スケレドモ、相當ナ方法ガ立テバ、是ハ或ハ法律ノ力
ヲ以テ保護スル方ガ宜イカ知レヌト考ヘマス、尙ホ
獨リ養魚場ニ限ラズ、海面ニ向ッテ埋立テ、陸地造成
ノ目的ニアラズシテ、他ノ設備ニ於テモサウ云フ場
合モナキニシモアラズト考ヘマスカラ、是ハ研究ス
ル餘地アリト考ヘマス、併シ未ダ成案ガアリトハ申
上ゲラレマセヌ

○委員長(小山田信藏君) 此場合一寸私カラ諸君ニ
申上ゲテ置キタイト思ヒマス、只今ノ御意見ハ内務
次官カラ御聴キニナツタ通りノ御答デアリマスルカ
ラ、此質問ガ打切ニナリマシテモ、各派寄リマシテ一
遍御相談シマシテ、何等カ當局ト交渉シタイト思フ、
此問題ニ就テハ左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○高柳覺太郎君 水産局長ニ御尋シマスルガ、此養
魚池デスナ 所謂四方陸地ニ接シテ居ル、一方ハ陸地
ニ接シ三方ハ海ニ面シ、二方ハ陸地ニ接シ、二方ハ海
ニ面シテ、居ル、即チ周圍ニ陸地ヲ以テ圍マレテ居
ル所ノ養魚池、海面ヲ埋立ッテ居ル所ノ養魚池、此養魚
池ノ築設者ニ所有權ヲ得セシメルト云フコトニ就テ
ハ、御同意デアラウト思フガ、ドウデスカ

○村上政府委員 是非同意シタイト思ヒマス

○高柳覺太郎君 サウシマスルト、此法案ノ御草案
中ニデスナ、御起草中ニ御協議ニナツタト云フコトノ
御話ハ承知致シテ居リマス、ソレガ多少時期ガ遅レ
タト云フヤウナ御話モ伺ッテ居リマスガ、此議會ニ御
提案ニナル前ニ於テ、既ニ御協議ニ與ッタト致シマス
レバ、此養魚場ノ設置ト云フコトモ、矢張水面ノ埋立
ト——全然同様デハナイケレドモ、殆ド同様ト看做
スベキモノデスカラ、此法案中ヘソレヲ包含セシメ
ルト云フコトノ御運ハ、協議上出來得ラレルヤウニ
思ヒマスケレドモ、御都合上サウ云フ事ニハ出來マ
セナンダノデアリマスカ、例ヘバ私ノ考トシテハ、第
一條ノ第二項ニ干拓ハ埋立ト同様ニ看做スト云フコ

トニナツテ居リマス、左様ナ譯デアッテ、矢張養魚場ノ
設置ト云フコトモ——或ハ築設ト申シマスカ、此養
魚場ノ築設ハ矢張此埋立同様ニ看做スト規定サレタ
ラ——或ハ他ニ附屬ノ規定ガ要ルカモ知レマセヌ
ガ、大體ニ於テサウ云フ事ヲシマスレバ、此法案ヲ以
テ其目的ハ達セラレルヤウニ思ヒマスガ如何デセウ
○村上政府委員 養魚場ノ關係ニ就キマシテ、或ル
程度マデハ御説ノ通り此法案目的ガ達セラレルト
思ヒマスガ、成程御覽ニナリ方ニ依ッテハ、一部ヅツ
デモ少シモ早クシタ方ガ宜イカラ、此條文ニ少シデ
モ其事ヲ入レタ方ガ宜イト云フ御説モ立チマスガ、
吾々ガ考ヘテ居リマスノハ、今申シマシタ様ニ、他ノ
區劃漁業其他は是ト類シタモノガ色々アル、其等ノ事
ニ就テハ一面ニ於テ漁業法ノ改正ヲ攻究致シテ居リ
又一面ニ於キマシテハ、養殖關係ノ法制ノ根本的基
礎ヲ立テタイト云フ考ヲ持ッテ居リマスカラ、隨テ此
法案ノ合議ノアリマシタトキニモ、其希望ハ話シマ
シタケレドモ、強テ一部分ダケ此處デ解決スルト云
フコトヲ急ニ致サスデモ、全部ニ就テノ改正ヲ成ベ
ク致シタイ、成ベク全部ニ就テノ根本的確立ヲ急ギ
タイ、實ハ次ノ議會ニモ出シタイ位ニ自合等ハ考ヘ
テ居ルノデアリマスノデ、只今ハ纏メル方ノ考ヲ主
トシテ居ルノデアリマス、併ナガラ只今御話ノ如ク
一部分デモ少シモ早ク解決スル方ガ宜イト云フ御意
見ニ就キマシテハ、反對デハ無論ナイノデアリマス

○毛里保太郎君 此養魚池ト云ヘバ水ガ浮イテ居ル
カラ、何ダカ變ナ感ジガ致シマスガ、魚ヲ養フ畑ト見
レバ此中ニ入レラレナイコトハナイノデアリマス、
水ニ拘泥スルカラ變ダガ、魚ヲ養フ畑ト見レバ些ト
モ差支ナイ、(笑聲起リ)其通り其通りト呼フ者ア
リ(思召ハ如何デスカ)

○村上政府委員 私ニデスカ——ドウモ法案ノ解釋
ハ主務當局カラ御願致サスト困リマスナ(笑聲起ル)

○高柳覺太郎君 今ノ問ト同様カモ知レマセヌガ、
今現ニ養殖事業ガ盛デアルノデアッテ、海面ト力或ハ
湖面ニ接シタ所ノ陸地ノ方面ニ於テモ、例ヘバ水田
ヲ少シク掘ッテ池トシ、或ハ畑ヲ掘ッテ池トシテ、サ
ウシテ養魚池ナルモノヲ設ケテ、養殖事業ヲヤッテ居

ル、此畑地ヲ掘ッテ、或ハ水田ヲ掘ッテ養魚池ニ致シマ
シテモ、地目ハ依然田畑デアッテ、矢張田畑トシテ納
税シテ居ル譯デアリマスガ、此養魚池ト海面ヲ埋立
テ、築堤ヲシテサウシテ、養魚場ヲ設ケタ所ノ養魚
池トハ、實質ニ於テハ同ジモノデアルト私ハ思フ、ダ
カラシテ實質ニ於テ同ジモノデアルト以上ハ、同ジ取
扱ヲ受クベキモノデアルト思フ、其點ニ就テハ如何
デアリマスカ

○村上政府委員 今ノ御話ニ就キマシテハ御尤ト思
ヒマス、ソレデ其地目變換ノ取扱ハ矢張大藏省ノ方
デヤッテ居リマスデ、私ノ方カラシテ直グ其取扱ヲド
ウ致シマスト云フコトハ、一寸申上兼テ、水産當
局トシマシテハ、貴方ノ仰シヤルコトガ御尤ト思ヒ
マス

○高柳覺太郎君 尙ホ一ツ御面倒デスガ——此養魚
池ノ所有權ト云フコトハ多年ノ問題デアルト思ヒマ
スガ、大藏省ノ御所管ニ關係スルト云フコトデ、大藏
省ノ御意見ハ如何デアアルカト思ヒマスガ、此養魚池
ナルモノガ、新規ニ海面ヲ埋立テ、養魚池トシテ居
サレテ居ラナカッタノデアリマスカラ、地租條例ノ上
ニ於テノ土地ノ中ニ認メラレテ居ラナイト云フ結果
ニナツテ居リマスケレドモ、併ナガラ地租條例ノ中ニ
ハ第二類トシテ池ト云フモノガアルノデス、又沼ト
云フモノガアルノデスカラ、此養魚池ハ矢張池ノ中
ニ含マセテ、サウシテ所有權ヲ得セシメルト云フ手
續ガ從來ニ於テモ出來サウニ思ッテ居リマシタケレ
ドモ、是ハ新規ニサウ云フ事業ガ起ッテ變態ノ池デア
リマスカラシテ、從來ノ地租條例ノ中ニハ池ハ含マ
セラレナイ、斯ウ云フ解釋モ取レナイコトハナイケ
レドモ、又一面カラ見マスルト池ハ池ニ相違ナイノ
デスカラ、地租條例ニ規定シタル池ノ中ニ、養魚池
モ亦含マセルト云フ解釋ヲ取ッテ、所有權ヲ得セシメ
ルト云フ方法ハ、從來ニ於テモ取レサウニ思ッタノデ
スガ、其點ニ就テハドウ云フ御考デアリマスカ

○村上政府委員 從來ノ取扱振ニ就キマシテハ、私
カラ他ノ當局ノ取扱振モ批評スル形ニナリマスノデ
只今ノ御尋ニ對スル答辯ハ洵ニ迷惑ニ存ズルノデア

リマスガ、私水産當局トシテノ解釋カラ云ヒマスレバ、此埋立ト云フ事ガ養魚池ノ増成デハ埋立ト見ラレナイ、隨テ官有地ヲ私有地ニ組換ヘルコトガ出來ナイ、組換ヘルコトガ出來ナイカラ、大藏省ノ方デ地種地目ノ名稱ヲ付ケルコトガ出來ナカッタ、斯ウ云フ事デアッタラウト私ハ信ジテ居リマス

○毛里保太郎君 船渠ダトカ、九州ノ三池ノ築港ノ如キ、アレ等ハ矢張養魚池ト同様ナヤウナ感ガ起ルノデスガ、アレ等ハ此法案ニ當嵌メルトドウ云フ事ニナリマスカ

○堀田政府委員 アノ船渠ノ如キハ從來矢張公有水面トシテ公有水面ノ使用願ヲ許可シテヤラシテ居ル、サウ云フ風ニナッテ居リマスノデ、恰モ養魚池ト同ジヤウナ振合ニナッテ居ッタノデス、併シ養魚池ヲ此際所有權ヲ與ヘルコトニデモシテ隨テ本法ノ規定ヲ準用シヤウト云フヤウナコトニデモナリマスレバ、アレ等モ一緒ニ明ニ規定シタ方ガ宜カラウト考ヘテ居リマス

○毛里保太郎君 是非サウ云フ事ニ願ヒマス、次ニ御尋シマスガ、福岡縣ノ如キハ埋立ヲスルニ就テ、總テ保證金ヲ取ル 工事ノ設計高ノ幾ラト云フモノヲ取ッテ居ル、此法案ニハ此事ハ規定シテナイデスナ

○堀田政府委員 サウ云フコトハゴザイマセヌ

○毛里保太郎君 サウスレバ保證金ハドウ云フコトデスカ

○堀田政府委員 アレハ從來各府縣土木工事ノ取締規定等ニ其保證金ノ制度ヲ執ッテ居リマスノデ、其趣意ハ要スルニ單ニ權利ヲ得ルダケデ、仕事ヲヤラヌト云フヤウナ事デアッテハ困ルト云フヤウナコトデ、企業ノ誠意アリヤ否ヤヲ見ル爲メニ、一ツハ取ッテ居ルヤウニ承知シテ居リマス、水力電氣ナドニ付テモ、府縣ニ依リマシテハ保證金ヲ取ッテ居ル所ガ多イヤウニシテ居リマス

○高木正年君 私ガ特ニ農商務省ノ政府委員ノ御出席ヲ請ヒマシタノハ、公有水面ノ埋立ニ付テ、此度新ニ立法セラル、ニ際シマシテ、内務省ハ深甚ノ注意ヲ拂ハレタヤウニ、私ハ此案ニ付テハ敬意ヲ拂ッテ居ルノデアリマス、併ナガラ在體ニ申シマス、水産業

ニ對スル所管ノ當局ノ方ノ立案デナイ爲メニ、或場合ニ於テハ此公有水面埋立ニ依ッテハ、漁業ナルモノガ保護サレナイガ如キ結果ニ陥ルベク考ヘテ居ルノデアリマス、勿論此立法ハ内務省ガ水産業ニ未ダ會テ手ヲ觸レヌ水産業ニマデ、多大ノ留意ヲサレタト云フ事ハ、立法ノ上ニ見エテ居ルノデアリマス、御交渉ニモナリ、農商務省トノ合議上成立ッテ法案デアルトモ考ヘテ居ルノデアリマス、茲ニ一例ヲ申シマスト、是ハ私ノ質問デアリマセヌガ、養魚池ノ問題ニ付キマシテモ、從來土地臺帳ノ名目ニ載セルコトノ出來ナイ爲メニ、多數ナル費用ヲ掛ケテ、所謂海面ヲ閉切ッテ、或ハ湖水ノ一方ヲ閉切ッテ養魚池ヲ造ッテモ之ヲ以テ抵當權ヲ設定シテ金融ヲ著ケルト云フコトガ出來ナイ、全國漁業組合聯合會ニ於テ、此事ハ屢々農商務省邊リニ建議モシ、要求モシテ居ルノデアリマス、此度公有水面埋立法ノ出來マス以上ハ、此機會ニ於テ養魚池ノ一ツノ此權ヲ的確ナモノニシナケレバ、水産ノ發達ハ出來ナイ、多年唱ヘテ居ル水産業ニ對スル金融ノ途モ、水産銀行ガ出來ナイマデハ、現時ノ勸業銀行若クハ興業銀行ニナサレルニシテモ、其漁權ナルモノガ普通ノ漁權デアアル、定置漁業トカ、區劃漁業トカハ抵當權ニナルガ、養魚池ノ如キハ抵當權ヲ設定スルコトガ出來ヌト云フコトニナッテ居ル、此事ハ公有水面ノ埋立ノ上ニ準ズベキ箇條ヲ發見シナイノデアアル、又一ツハ此法案ヲ讀ンデ見テ、中ニ細心ノ御注意ノアル點ハ、例ヘバ從來排水ノ場所トナシテ置イタ水面ガ、埋立テラレル場合ニハ、之ガ爲ニ排水ヲスル事ノ出來ナイ様ナ場合、若クハ給水サレテ居ッタ所ノ水面ガ、埋立テテ其給水ノ出來ナイ場合ニハ、埋立ハ許可シナイト云フ事ニナッテ居ル、是ハ普通ノ飲用水ノ場合若クハ工業用水ノ場合等ニ起ルノデアリマス、内務省ガ之ニ御注意ニナッタ事ハ、洵ニ相當デアリマス、所ガ是ト同ジ様ナ事ガアル、海面ニ於テ所謂潮ノ道ヲ付ケテ居ッテ、此潮道ニ依ッテ、例ヘバ茲ニ區劃漁業定置漁業ガアル、一方ハ之ニ依ッテ魚ノ上ッテ來ルノヲ待ツ、一方ハ之ニ依ッテ潮水若クハ淡水ノ供給ヲスル途ヲ造ッテ、其所ニ於ケル水産動植物ノ繁殖ヲ圖ル養殖ヲ爲ス、サウ云フ場合ガア

リマスガ、此法案ニ依ルト、權利ニ對シテハ損害補償ガアル、其權利ニ對シテハ、權利者ガ同意セザル限リ埋立ヲシナイ、所ガ今申スガ如ク公有水面ニ或ル施設ヲ行フ、其施設ヲ行フトスル所ニ供給スル潮水ナリ、或ハ淡水ナリ、潮道ヲ塞ガレテモ之ニ對シテ之ヲ拒ム事ノ條件ガナイ様ニ見エル、若シサウ云フ風ニナルト、養殖業ノ如キハ何レモ餘リ深イ處デハナイ、養殖業ハ大抵干潟ニ屬スル所ニ多イ、其干潟ハ多ク埋立ナドニ對シテ計畫シ易イ場所デアリマスカラ、往々今後ハ養殖業ガ此埋立ニ依ッテ阻碍サレルト云フ事ニナル、所ガ此法文中適確ニソレヲ發見スル事ガ出來ナイ、今此法案ニ依リマシテ埋立ヲ許可スル一ツノ標準ハ、市町村ノ意見ヲ聽クトアル、所ガ市町村内ニアル所ノ漁業地、水産業地、是ハ無論形式ノ上デハ市町村ガ代表シテ意見ヲ言フベキ筋デアリマス、漁業組合ナドハ全ク微力デアリマシテ、其一箇村若クハ一箇町ガ一方ニ海面ヲ持ッテ居ッテ、海ニ依ッテ町ナリ村ナリガ生活シテ居ル所デアリマスレバ、村會ノ決議、町會ノ決議ガ必ズ水産業者ヲ除外シ若クハ漁業者ヲ除外シテ意見ヲ表示スル場合ハナイノデアリマス、併ナガラ例ヘバ東京市ノ如キ大キナ所デ、東京市ノ漁民ト云フ事、東京内灣ハ他ノ府縣ノモノニ比シテモ、中ニ廣汎ナル地域ヲ有シマスガ、大ナル東京市ナドニナリマス、必シモ市會ノ意見ハ沿岸漁民ヲ保護スルコト云フ意見ニハ出テ居ナイコトモアル、然ルニ漁業組合ノ意見ヲ言ハスト云フコトニナルト、往々彼等ノ漁業組合ノ利益ヲ犧牲ニスルト云フヤウナ事ガアル、此邊ニ付キマシテ公有水面埋立法ハ、農商務省ハ頻ニ漁業ヲ獎勵シ保護シヤウトナサッテモ法案其モノノ不備ノ爲ニ、是等ノ水産業ガ侵サル、場合ガ多イ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、無論合議ノモノトハ存ジマスガ、此點ニ付テ農商務當局ノ御意見ヲ承リタイ、サウシテ私共思フノニ内務省トシテハ從來御扱ヒニナラヌ事マデモ、御注意ニナッテ居ルコトニ付テハ、始メニ申上ゲマシタヤウニ、敬意ヲ拂ッテ居リマスガ、今一應兩者間ニ御交渉ニナッテ、現在ニ於ケル所ノ産業ヲ害サヌト云フ程度ニ欲シイノデス、今申上ゲタ三ツノ問題ノ外ニ、今

一ツ補足致シテ置キマスガ、ソレハ從來我國ニ於キマシテ漁權ノ設定ト云フモノハ、或ル特殊ノ場合ニ限ツテ居ル、例ヘバ海面ニ於テ貝類ノ育ツ處ニ於テ、之ニ依ツテ漁權ノ設定ヲナス、天然ニ貝類ガ繁殖シ、天然ニ或ル魚類ノ繁殖スル處ニ於テハ養殖ノ必要ガナイカラ、此邊ハ別ニ權利ノ設定ガナクモ、一ツノ漁場トシテ存在シテ居ル、所ガ此法案ニ依ルト權利ノ設定ヲシタモノデナケレバ、保護ハサレナイ、多數ノ漁民ガ生活ノ場所トシ稼ギ場トシテ居テモ、權利ノ設定ノナイモノニ付テハ、保障ガナイ、所謂社會政策的ノ助ケ、國民ノ生活ノ保全ヲ目的トスル政治ノ仕方トシテハ、ドウモ此法案ハ少シ不備ノ點ガアルト思ヒマス、今申上ゲタ點ニ付キマシテ農商務政府委員ノ御意見ヲ承ツテ、成ベク此法案ヲ具體ノモノニシタイト思ヒマスカラ、特ニ此委員會ニ御出席ヲ希望致シタノデ、ドウゾ私ノ意ノ在ル所ニ付テ農商務省ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○村上政府委員 第一ノ御尋ノ養魚池ノ問題ニ付キマシテハ、先程來モ申上ゲマシタ通り、水產行政ト致シマシテモ、養魚ノ發達ト云フコトハ是非努力シナケレバナラスコトト思フ居リマスカラ、是等ノ關係法規ノ制定セラレマスル際ニハ、相當注意ヲ拂ツタノデアリマスガ、此條文ノ中ニ養魚池ト云フ字ヲ入レナカッタコトハ、別途此養魚ニ關シマスルコトハ、此埋立ト云フ程度ニ此法案ガ適用サレ、若クハ準用サレル程度ノ築設ヲスルモノト、又漁業ノ簡單ナモノト、其他養殖ニ關係シタモノト、色々ナ事情ガアリマスノデ、ソレヲ纏メテ漁業關係ノ特別法規ヲ造ラウ、造リタイ、而モソレヲ成ベク早クヤリタイト云フノデ、一方ヤツテ居リマスノデ、強テ此條文ニ入レルコトヲ要求シナカッタノデアリマス、併シ先程モ高柳サンノ御質問ト記憶致シテ居リマスガ、一ツ宛片端カラヤツテ行クト云フ意味ニ於テ、此法文デ或ル程度ノ解決ヲスルコトハドウカト云フ御説ニ付テハ、水產局トシテハ無論異論ハナイノデアリマス、併シ之ニ入レベキ交渉ヲシナカッタト云フコトニ付テハ、今申上ゲタヤウナ事情ガアルカラデアリマス、第二ノ潮道ノ通路ノ事ニ付キマシテハ、此法案ニ第十

條ノ條文ガアリマスノデ、大抵ソレデ解決ガ著ク積リデアリマス、殊ニ又此條文ガ無クトモ權利侵害ト云フコトニナリマス、矢張民法ノ原則カラモ相當ノ主張ナリ權利ノ擁護ハ出來ルコトト思ヒマス、併シ十條ニ明ニ書イテアリマスカラ、御心配ノヤウナ節ハナカラウト思ヒマス、次ニ第三ノ漁業組合ニ關スル事ハ、矢張第五條ニ於テ漁業權者又ハ、入漁權者ハ、矢張公有水面ニ關シテ權利ヲ有スル事ニ規定シテアリマスカラ、隨テ御話ノ漁業組合ノ場合ハ、漁業權者入漁權者デアリマスカラ、漁業權者、入漁權者ト云フ立場カラシテ、相當ノ交渉ヲ持ツ譯デアリマスカラ宜シカラウト思ヒマス、而シテ漁業組合ニシテ漁業權者クハ入漁權ヲ有セザル場合ハ、第四ノ御尋ノ簡單ニ言ヘバ養殖ナラ養殖、漁業ナラ漁業ノ利益ヲ侵害サレルヤウナ事ニ付テハ保護ハ無イデハナイカト云フ御質問ト、合併シテ御答シタイト思ヒマス、其第四ノ問題ニ付キマシテハ、私共モ平素心配シテ居ルコトデアリマシテ、漁業者ガ所謂海ノ幸トシテ昔カラ利用シテ居ッタ干潟ヲ、他ノ產業ノ爲メニ失フト云フヤウナコトガアルト云フコトハ、甚ダ遺憾ナノデアリマス、而シテ漁業法ニ於テハ御承知ノ通り、慣行專用權、地先專用權、又ハ其他定置漁業權トカ、各種ノ權利ガアリマス、其權利ニ屬シナイ所謂漁業ノ利益ヲ、權利ト同様ニ保護スルト云フ事ハ、荷モ法制ガ立ツテ居リマス以上ハ、忽セニシテ居ラヌ積リデアリマス、水產當局ト致シマシテハ、近年埋立トカ干拓トカ云フ問題ガ殊ニ著シイニ付キマシテ、常ニ事前ノ方法トシマシテハ、地方ノ水產主任官ヲ中央ニ集メテ會議致シマス時ニモ、私カラ度々訓示致シマシテ、是等ノ漁業利益ノ存スル所ノ海面ヲ埋立テル様ナ場合ニハ、其埋立テルト云フ事ガ必ズ許サレルト云フモノデハナイ、知事ガ許可スル際ニハ無論地方長官トシテ深甚ノ注意ヲ拂フノハ當然デアアル、海ヲ干拓シテサウシテ米ナリ其他ノ物ヲ作ル、或ハ工業敷地ヲ取ルカ、或ハ依然トシテ之ヲ漁業場ノ利用ニ置クガ宜イカト云フ事ニ付テハ、何レモ國益ナリ公益ナリノ見地カラ見テ、斯ウスル方ガ宜シイト云フ事ヲ知事ガ判斷シテ許スモノデアリマスカラ、漁

業利益ガ非常ニ重大デアツテ、實際埋立ニ依ツテ、例ヘバ之ヲ農業ニ利用シテモ、其農業ノ利益ガ極メテ輕微ナモノデアツタナラバ、私ハ地方長官ガ其許可ヲスベキ筋合デハナイト思ヒマス、隨テソレ等ノ場合ニ於テ地方ニ於ケル水產當局トシテ、水產者ノ利益ヲ漫ニ害サナイヤウニスル、出來ルダケノ手段ヲ採ツテ貰ヒタイ、而シテ知事ノ判斷ニ依ツテ埋立ヲ許スト云フ事ハ已ムヲ得マセスケレドモ、併シ其判斷ノ資料トシテ供スベキ資料ニ付テハ、十分努力シテ居リマスシ、現ニソレニ依ツテ決マリカ、ツタ決定ヲ動カシタ事スラモアル、斯ク注意ヲ拂ツテ居ル積リデアリマス、又ソレカラハ是ハ事前ニ對スル注意デアリマスガ、事後ニ對スル注意ト致シマシテハ、其利益ノ救済ニ付テ權利ノ損害賠償ト云フ様ナ譯ニモ行キマセスガ、一方ガ多數ノ細民漁業者ノ場合ニハ、ソレ等ノ者ノ救済ニ付テハ、單ニ現場ノ收獲高ノミヲ以テ判斷スルコトモ出來マセスノデ、漁民ノ轉職ニ付テ非常ニ困難ヲ感ズルト云フヤウナコトニ付テモ、相當考慮ヲ拂ツテ貰ハナケレバナラス、隨テソレ等ニ對シテハ相當ノ救済ヲシテ貰ヒタイ、現ニ交渉中ノ案件モアリマスシ、屢々ヤツテ居リ、又或ル程度マデ解決ヲ告ゲタコトモアルヤウナ次第デアリマシテ、相當注意ヲ拂ツテ居ル積リデアリマスガ、併シ尙ホ將來サウ云フ機會ガ増加スルニ付テハ、無論十分注意ヲ怠ラナイ積リデアリマス

○高木正年君 農商務省ノ政府委員カラ詳細御答ガアリマシタガ、其御答ノ中デ私ノマダ諒解シ得ナイノハ、第五條ニ漁業權者、若クハ入漁權者トアルカラ、漁業組合ガ自ラ之ニ關與ガ出來ル、斯ウ云フ事デアリマス、私ノ申上ゲタノハ所謂權利ノ設定ノナイ區劃漁業デモ、或ハ定置漁業デモナイ、有體ニ申セバ天然ノ養魚場トモ云フベキ、漁場トシテ最モ大切ナ場所區劃モ定置モ定メズトモ、十分漁民ガ其處へ行ツテ稼ゲルト云フ漁民トシテハ一番大切ナ處、併ナガラ其處ハ權利ノ設定ハナイ、例ヘバ東京灣内ノ如キデアリマス、神奈川縣千葉縣、ノ如キハ地先專用ヲシテ居リマスガ、東京灣ノ沿岸ハ一ノ地先權ノ設定モナイ、而シテ事實非常ニ魚ノ湧ク干潟デアツテ、之ニ依

テ多人數ノ漁民ガ生活スル、殊ニ中央市場ガ近イカラ、千葉縣ヤ神奈川縣ノ漁場ヲ獲ル魚ヨリモ價ガ高イト云フ爲メニ、數萬ノ漁民ガ家族的ニ此處ニ於テ生活シテ居ル、是等ガ埋立ニ依ッテ侵サレル場合ニハ、權利ノ設定ガナイカラ、入漁權モナケレバ漁業權モナク、而モ之ヲ奪フトキニハ由々シキ社會問題ガ起ル、然ルニ此法案ハ主トシテ權利ノ所在ヲ認メル事ニナッテアルカラ、此法文デハ不十分ダト云フコトヲ私ハ申上ゲタノデアアル、セメテ權利ノ設定ハナイガ、漁業組合ガ隊ヲ容レルト云フ事ニナルト、其組合ノ意見ハ多數ノ漁民ヲ代表シテノ意見デアアルカラ、吾々ノ要求スル利益ノ保護ト云フ上ニ一層ノ強味ヲ増スデアラウ、斯ウ、申シテ御尋シタノデアリマス、今一應

○村上政府委員 漁業組合ガ漁業權ヲ有シテ居リマス事ニ就テハ、私ハ第三トシテ答辯ヲ致シタノデアリマス、今ノ御尋ノ場合ハ第四トシテ可ナリ諄ク申上ゲタ積リデアッタノデアリマス、詰リ權利ノ無イ場合ニ於キマシテ、假ニ私ハ權利ノ狀態ニアラズシテ、利益ノ狀態ト云フ意味デ、漁業利益ト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、權利ノ狀態ニナッテ居リマセス以上ハ、他ノ權利同等ニ取扱フコトガ出來ナイト云フコトハ、今日ノ行政ノ大體カラ見テモ、已ムヲ得ヌ事ト思ヒマス、隨テソレ等ニ今日ノ所謂地先專用權ノ設定等ニ依ッテ、尙ホ保護ガ足ラヌトシマセバ(高木正年君「保護ガナイ場合デス」ト呼フ)無イ所ハスルモ宜カラウト思ヒマスシ、又スル事ガ出來ナイ事情ガアレバ、ドウモ權利トシテ保護スベカラズト云フコトニ國家ガ認メタトスレバ、ソレハ已ムヲ得ヌト思ヒマス、其已ムヲ得ヌ場合ハ已ムヲ得ヌトシテ捨置ケベキデナクシテ、先程事前ト事後ニ分ケテ申上ゲタヤウニ、事實上ノ解決ニ依ッテ相當ノ保護ハ爲シ得ルト云フコトヲ考テ申上ゲタノデアリマス、而シテ尙ホ現在ノ漁業關係ニ於ケル法制ガ缺點アリトスレバ、又ソレハ其方デ研究スルコトモアリマセウガ、此法案ニ依ッテソレヲ解決スルト云フコトハ少シ筋ガ遠ヒハスマイカト云フ風ニ感シテ居リマス

○高木正年君 筋ハ些トモ違ハヌ、唯ダ之ガ損害ノ

補償ト云フ事ニ這入レバ宜イ、利益ヲ害サレタ場合ニハ權利デナイ利益、其利益ノ害サレタ場合ニ損害ノ補償ト云フコトガアルカ、損害ノ補償ト云フコトガ利益ヲ害サレタ場合ニモ及ブカドウカト云フコトヲ御尋スル爲メニ、農商務當局ヲ煩ハシタ次第デアリマス、私ハ此農商務省ニ對スル質問ニハ、御答ガアリマスカドウカ知リマセヌガ、私ハ其後ニ字句ノ事ニ就テ疑ヲ少シ質シタイト思フ、此場合御許シテ願ヒマス——今ノニハ御答ガアリマス

○村上政府委員 矢張法律上デ損害ト云フ場合ハ、權利ニ對スル損害デナケレバ、此中ニ入レル事ハ六ケシイト思フノデスガ、ソレ以上ハ御意見ノ相違ニナルヤウデアリマス

○高木正年君 公益ト云フ中ニ這入リマセヌカ、公益ヲ害スルト云フ中ニ這入リマセヌカ、權利ノ設定ハナクトモ多數ノ漁民等ガソレガ爲メニ生活ヲ脅威サレルト云フ場合ハ、公益ヲ害スルト云フコトニ御見解ガ著ケバ宜イノデアリマス、其點ハ如何デスカ

○村上政府委員 今ノ御話ハ所謂漁業利益ガ、公益ト云フ程度ニ達シテ居ル程ノ重大ナル利益デアルト致シマスレバ、地方長官ガ許可スル筈ガナイ事ト思ッテ居リマス、公益ヲ害シテ迄埋立ヲスルト云フ性質ノモノデナイト思ヒマス、其處ハ程度ノ次第ダト思ヒマス

○高木正年君 ソレデハ外ノ事ヲ伺ヒマス、内務省ノ政府委員ニ御尋シマスノデスガ、此法文ニハ市町村ノ意見ヲ聽クトアリマスガ、府縣ガ……

○委員長(小山田信藏君) 一寸高木君御待チ下サイ水産局長ハ貴族院ノ方ヘ參ラナケレバナラヌサウデスガ、水産局長ニ付テ御尋ノ方ハアリマセヌカ——

高柳君ガアルサウデスカラ、高木君一寸御待チ下サイ

○高柳覺太郎君 本法案ニ依リマシテ、大分漁業權ハ保護サレテ居リマスノデアリマスガ、此第五條ニ漁業權者又ハ入漁權者トアリマスガ、之ニ伴フ矢張同様ノ此漁業權ヲ目的トシタ所ノ先取特權及抵當權者ト云フ者ヲ、同様ニ保護サレルベキモノノヤウニ思ヒマスケレドモ、尤モ第七條ニ於テ保護ノ途ハ著イテ居リマスケレドモ、此第七條ノ保護ダケ

デハ足ラナイノデアッテ、第五條ヲ漁業權者入漁權者ト伴ッテ矢張先取特權者ト抵當權者トニ對シテ保護ヲナサルベキモノノヤウニ思ヒマスガ、其點ニ付キマシテノ御考ハ如何デセウ

○村上政府委員 御話ノ通り第七條ニ保護ノ途ガ著イテ居リマスノデ、此道デハ足ラヌトスルナラバ、又別問題デアリマスガ併シ大體耕地整理法ニモ斯ウ云フ條文ハ既ニ早カラ出來テ居ルノデアリマス、大體ソレニ準ジタモノデアリマスカラ、私ハ同意致シタノデアリマス

○高柳覺太郎君 此規定ニ依リマスト第五條ト第七條ノ關係ヲ照シテ見マス、即チ先取特權者ト抵當權者ハ第二ノ保護ヲ受ケテ居ルノデアッテ、直接保護ヲ受ケテ居ルノハ漁業權者、入漁權者デアリマスガ斯ウ云フ規定ニ致シマス、漁業權者、入漁權者ハ直接埋立企業者ト妥協シテ、妥協シマスルト云フト、所謂同意トカ、若クハ權利ノ讓渡ナドヲ致シマス

ト云フト、ソコデ以テ表面ハ僅カナ金額デモ、實際ハ巨額ナル金デ以テ讓渡金ナラ讓渡金、或ハ同意金ナラ同意金ヲ取ル、表面ハ僅カナ金ニシマシテ——斯ウ云フ直接補償金ヲ定メルト云フ事ニ致シマス、抵當權者、先取特權者ハ大變其爲メニ害サレルト思フ、唯ダ漁業權者、入漁權者ガ企業者ト直接補償金額ヲ協定シマスルト云フコトニナルト、先取特權者抵當權者ト云フ者ハ、ソッチノケニナッテシマッテ、補償金ト云フモノヲ表面ト實際トニ於テ非常ナ差額ヲ生ゼシメテ、抵當權者先取特權者ト云フモノガ、此補償金ヲ得ルノ途ヲ缺キハセヌカト云フ懸念ガアリマスガ、是ハ内務省ノ方ニ伺ヒタイト思ッタノデスガ、先ヅ第一ニ水産局長ノ方ニ伺ヒタイ、ドウデセウ

○村上政府委員 其點ニ就テハ私ハ一個ノ考デ御答辯シテモ宜シイノデスガ、漁業權ノミデナク、全體ニ關係シマスカラ、内務當局カラ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、併シ第七條ノ場合デアリマス、漁業權ノ問題デアリマスカラ、私カラ申上ゲテモ宜シウゴザイマス、今ノ御話ノヤウニ漁業權者ガ極メテ些少ナ金額ヲ以テ受授シテ、サウシテ先取權者、抵當權者ノ利益權利ヲ侵害スルコトヲ願ミナイヤウナ場合ハ、

私ハ大體ニ於テ刑法ノ制裁ヲ受クルモノト思ヒマス
又民法ノ不法行為ノ規定ノ適用モ出來ルト思ヒマス
ソレデ一面此便宜規定ヲ設ケタノハ、御話ノ通り先
取權者ヤ抵當權者ノ保護ニ就テ薄イト云フコトガ、
實際ノ場合ニナイトモ限リマセヌガ、成ベク手續ヲ
簡便ニスル必要ガアルノデ、斯様ナ規定ヲ設ケラレ
タコトト考ヘマス、而シテソレガ爲メニ非常ナ不都
合ヲ生ズルコトハ先ヅ無カラウト思ヒマス

○高木正年君 今半バヲ申上ゲタノデスガ、市町村
ノ意見ヲ聽クトアリマスガ、一階上ノ府縣會ガ、埋立
ニ付テ府縣知事ノ意見ヲ上申シタ場合ニハ、矢張是
ト同様ナモノトシテ内務省ハ御取扱ニナルモノデア
リマスガ、一ツ例ヲ申シマス、六七年前デアリマス
ガ、東京灣ニ於ケル東京府所管ノ埋立ヲ、府ガ之ヲ經
營スルコトノ決議ヲシマシタ、確カ七八年前ノ東京
府會ノ決議デアリマス、昨年十二月二十九日ト思ヒ
マスガ、目黒川改修工事埋立地ノ位置宜シキヲ得ズ、
其土砂ヲ以テ埋立テル位地ノ確定セザルト、東京
府ノ指定スル場所ガ宜シクナイ爲メニ、目黒川改修
工事ガ否決ニナリマス同時ニ、附帶決議トシテ爾
來東京府所管沿岸工事ハ他ニ許サナイ、府ノ經營カ
若クハ公共團體ノ外ニハ之ガ許可ヲ與ヘナイト云フ
意見ガ附帶決議トシテ府知事ニ之ヲ上申シテアルノ
デアリマス、斯様ナ場合ハ市町村ノ意見ヲ聽クト云
フ場合ヨリ以上ニ重イモノト内務省ハ御覽ニナリマ
スカ

○堀田政府委員 此法案ト地元市町村ノ意見ヲ徵ス
ルト云フコトヲ定メテアリマスノハ、地元市町村ガ
埋立ニ對シ利害關係ガ最モ厚イト云フノデ、是ダケ
ノ事ヲ規定セラレ、必要條件トサレタノデアリマス
ガ、其他埋立ガ各方面ニ實際ニ關係ヲ有スルト云フ
場合ニ於テハ、假令ソレガ隣接地點デアリマシテモ、
其隣接地點ノ意見ヲ聽クト云フコトモ起ツテ來ルノ
デアリマス、地方長官モ無論隣接地點ニ關係アルモ
ノハ其意見ヲ聽クト思ヒマス、然ルニ今御尋ノ
件ハ、府縣會ガ府縣會ノ規定ニ依ツテ其府縣ノ公益關
係アル事件トシテ、其意見ヲ監督官廳ニ出シタ場合
ハ、ソレヲ如何ニ見ルカト云フ御話デアリマスガ、是

ハ監督官廳トシテハ無論普通府縣會ガ、公益ニ關ス
ル事項ニ關シテ意見ヲ提出スルコトガ屢々アリマス
ガ、其意見ヲ尊重スルト同様ノ程度ニ於テ、無論尊重
シテ處分ヲスルコトニナルト考ヘテ居リマス
○高木正年君 六條ノ共同シテ云フ意味ガ判ラヌ
ノデスガ、漁業權、入漁權トアル、共同ト云フ意味ハ
雙方一緒ニト云フ意味デアルカ、實際ヲ申スト入會
權ノ無イ場合モアルノデス、此文字ハドウ云フヤウ
ニ解釋シテ宜シイノデスカ

○堀田政府委員 入會權者ノナイ場合ハ、斯様ナ場
合ハ起ラスノデアリマス、是ハ要スルニ漁業權者ノ
ミデ其補償ヲ受ケテモ困リマスシ、入漁權者ノミデ
受ケテモ困リマスカラ、雙方ガ共同シテ補償ヲ受ケ
ル權利ヲ有スルモノデアルト云フコトヲ規定シタダ
ケデアリマス

○高木正年君 漁業權者ガ要求シテモ入漁權者ガ要
求シナイトキハ、出來ナイコトニナリマスガ、必ズシ
モ共同シナクとも宜イト云フコトナラ、是ハ要ラス
コトニナリマスガ、大ニ是ハ權利ノ保護ノ上ニ就テ
間違ノ起リ易イヤウナ文章デアルト思ヒマス

○堀田政府委員 此漁業權者ト入漁權者ト並ビ存ス
ル場合ニ於テ、之ヲ各別ニ處置スルノハ損害ガアル
ト云ウテ、別ノ權利ニスルコトハ困難ナコトト思
ヒマス、寧ロ不可能ト思ヒマス、ソレデ其全體ノ損害
ヲ或ル權利ト見積リマスレバ、其金額ニ對シテ雙方
ガ補償ヲ受クルニ、其金額ダケノ補償ヲ受クル權利
ヲ規定シタ方ガ纏リガ宜イト思フノデアリマス

○高木正年君 入漁權者ガ要求シナカッタラドウシ
マスガ、サウ云フ誤解ヲ生ズルノデ、是ハ立法ノ意味
ヲ判然承ツテ置クト、後日行政訴訟法ノ起ツタ時分ニ
間違ハ起リマセスケレドモ、能ク立法ノ意思ヲチャ
ント決メテ置イテ、ドツチカ一ツガ要求スレバヤッテ
下サラスト困ル

○堀田政府委員 此損害ノ補償ハ或一方ガ要求シナ
クテモ、其漁業人全體ノ損害ヲ補償スルノデアリマ
スカラ、其場合ハ起ラナイノデス、是ハ獨リ此本案ニ
採用シテ居ルノミデナク、既ニ耕地整理法ノ二十七
條ノ二ノ二號ニ同ジ規定ガアルノデアリマス

○高木正年君 ドウモ當局ノ御答辯ハ徹底シナイノ
デスガ、要求シナカッタラドウシマスガ、起ラナイ場
合ガアルガ、必ズ起ラスト限ラナイ、一方ダケ要求シ
タ場合——其爭ヲ言フノデス

○堀田政府委員 要求シナイト云フノハ補償ノ請求
權ヲ拋棄スルト云フ意味デアリマスガ
○高木正年君 サウデス
○堀田政府委員 自分ハ損害ガナイカラ要ラストカ
○高木正年君 ナイトハ言ハヌガ、要求シナイ、アッ
テモ要求シナイコトガアル、始終サウ云フ事ガ起ル
○堀田政府委員 是ハ漁業權者——完全ナ漁業者ガ
受ケル損害ノ額ヲ全部補償シマシテ、其後取ラスト
云フコトハ勝手デアラウト思フ

○高木正年君 「共同シテ」ト云フ文字ガアルト、一
方ガ取レナクナルト困ル、要求シナイ入漁權者ダケ
要求シテモ取レバ宜イガ、共同シナケレバナラス、
共同シテ要求シナケレバ出來ヌヤウニ文章ガ出來テ
居ル、立法ノ精神ハ能ク速記ニ殘シテ置イテ貫ヒタ
イ、ドウモ法文ガ不備ノヤウニ思ヒマス

○堀田政府委員 今御尋ノ趣意ガ私ノ方ニ徹底シナ
イノデスガ、法令上是ダケノ程度ノ補償ヲ爲スト云
ウテ、サウシテ漁業權者ガ取ラス時ハ供託スルコト
ニナツテ居リマスカラ、供託ヲシテ其供託ヲシタ金ニ
對シテ要求シナイトナレハ、ソレハ自分ノ權利ヲ拋
棄シタモノデスカラ何トモ致方ガナカラウ

○高木正年君 ソレデハ一方ダケ要求スレバ、一方
ダケノ要求デモ其權利ノ補償ハ出來ルノデスネ
○堀田政府委員 サウデス
○高木正年君 共同ト云フ文字ニ就キマシテ、尙ホ
一ツ誤解ヲ生ジ易イコトガアル、例ヘバ茲ニ五万坪
ナラ五万坪ノ養殖場ガアル、是ガ漁業組合ノ持ツテ
居ル時分ハ異存ハアリマセヌガ、ズット古イ漁業場デ
アリマス、二百年モ三百年モ續イテ居ル漁業場デ
アリマスガ、大抵多クノ個人持チ、百人百五十人ガ
持ツテ居リマスコトガアルト云フト、坪數モ決ツテ居
リマスガ、一般ノ共有ニナツテ居ルガ、其中ノ幾坪ハ
誰ノモノデアル、其幾分ハ他ノモノデアルト、共同シ

テ名義ハ代表者ガ漁業權ヲ持ッテ居ル、所ガ其五万坪ナラ五万坪、十萬坪ナラ十萬坪ノ中、九萬坪、或ハ四萬五千坪ト云フ様ナ場合ニ於キマシテハ、權利ヲ捨テルヤウナコトガアルト假定スル、其殘ッテ居ル五千坪、或ハ十萬坪ノ中ノ一萬坪ノモノガ、一緒デナク別ニ要求スル場合ガ起ッテ來ル、權利ニ就テモ同様デアリマス、一坪ニ就テ一圓要求スル場合モアル、五十錢要求スル場合モアル、十錢要求スル場合モアル、其時分ニ五萬坪十萬坪ト纏ッテ居ル漁業場ニ對シテ、持分ノ決ッテ居ル以上、其持分ニ對シテモ要求出來ヤシナイカト思フ、實際ハ今日迄共同シテ居ル爲メニ、斯ウ云フ場合ニ誤解ヲ生ジ易イ、共同ト云フ文字ハ實際サウ讀メルノデスガ、是ガアル爲メニ色々ナ誤解若クハ其解釋ニ違ヒガ起ッテ來マスと思ヒマス、今申上ゲルヤウナ場合ハドウデアリマスカ

○堀田政府委員 只今御尋ノ場合ハ、是ハ矢張民法同様に規定ノ支配ヲ受クベキ事項デ、一般原則ニ依ッテ決スルコトデアリマスカラ、此所デ御論及ニナラナクテモ宜カラウ

○高木正年君 共同ト云フコトガ矢張民法ノ原則ニ依ッテ解釋シテ妨ゲルコトニナリハシマセスカ

○堀田政府委員 此文字ガ種々ナル煩ヲナス様ニ思フ、是ハ漁業權者ガ幾ラ、入漁權者ガ幾ラト云ウテ、分ケテ値打ヲ付ケルト云フコトハ、困難デアルト云フ考ヲ持チマシタカラ、完全ナル漁業權者ガ詰リ入會ト云フモノナシニ、完全ナル漁業權者ガ其漁業權ノ價ヲドレダケニ見ルカト云フコトニナッテ參リマ

スノデ、其漁業權ノ價全體ニ對スル補償ヲセンナラヌト云フ意味デ、其補償ヲナス、其一方カラ言ヘバ、補償ヲ受ケル權利、其兩者ガ共同シテ持ッ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

○淺野順平君 今日高木サンノ御尋ノ共同ト云フコトニ就テ、昨日モ私ハ一寸御尋ヲシマシタガ、此共同ト云フコトニ就テハ、例ヘバ此入會デナク湖ナドニ致シマシテモ、海デモ固ヨリデアリマスガ、種々此漁業ニハ或ハ定置漁業或ハ釣漁其他種々種類ガアリマスガ、其種類ガアッテ、其甲乙杯ノ算盤ガ出テ來マ

ス、收獲ト云フコトハ何日ノモノガ、甲ノ者ノ收獲ガ

厚ク、乙ノ者ハ收獲ガ薄イ、其場合ニ收獲ニ依ッテスルカ、本ヲ尋ネテ置カスト、其金ニ就テ非常ニ爭ガ起ルト思フ、是ガ五年カ十年ナラ知レマセスカ、或埋立ニ就テ其漁業者ガ數百人數千人アル、其甲乙ノ損害ニ就テ爭ヲ生ズル、漁業ノ種類ニ依ッテ甲乙ノ爭ガ起ル、今入漁權ト漁業權トハ兎ニ角、同ジ漁業權ニ就テ種々ナ爭ガ生ズル、是等ハ收獲許リヲ目當ニセラレ

ルカ、何トカ方法ヲ付ケテ置カスト、非常ニ是ハ爭ガ起ッテ困ル、補償ヲ受ケタニ就テ、漁業者ガ會議カ何カ拵ヘテ決メヌト、非常ナ爭ガ生ジマスガ、是等ノ點ハ如何デスカ

○堀田政府委員 淺野サンノ御尋ハ先日來漁業權者ト漁業者トヲ混同サレテノ御質問デナイカト思ヒマ

ス、數百人アッテ銘々出シタラドウカト云フ御話デアリマスガ、本法デ認メテ居リマスノハ、漁業權者ニ對シテ補償ヲ爲スト云フノデ、受ケタ補償ヲ漁業組合ガ如何ニ處分スルト云フ問題ハ、別問題デアラウト

思ヒマス

○淺野順平君 其漁業權者ガ漁業組合ヲ設ケル、其漁業組合ト云フノガ一ツノ漁業組合デナイ、澤山アル、或箇所ニ依リマス、三十何組合ト云フモノガ在ルト云フコトヲ私ハ知ッテ居ルノデアリマスガ、是等ハ皆異ジテ居ルト思ヒマスガ

○堀田政府委員 只今ノ御問ハ多數ノ漁業組合ガ何カ入會漁業ヲ爲シテ居ル場合デアリマスカ

○淺野順平君 此補償ヲ受ケルニ共同ト云フコトデアリマスルト、其甲乙ノ差ガアッテ、金ヲ取ル點ニ於テ爭ガ生ジハシマセスカ、金額ニ付テ

○堀田政府委員 完全ナル漁業權ガアリ、其漁業權ノ價トシテ支拂ツタ以上ハ、其金ヲ如何ニ銘々ノ間ニ處分スルト云フコトハ、此法案ニハ規定シテ居リマ

セヌ、ソレハ普通ノ金ヲ分ケルト同ジコトデ、銘々デ處理スルヨリ外ハナイト御承知ヲ願ヒタイ

○淺野順平君 昨日モ質問致シマシタガ、茲ニ定置漁業トカ其他ノ漁業ニ付テハ、權利ヲ有シテ居ル者

ダケニ補償スルト云フ政府委員ノ御話デアリマスガ、例ヘバ幅一里長サ三里ノ湖ガアルトシテ、其半分ヲ埋メル、サウスルト埋立テタ所ノ漁業權者ダケニ

ハ補償スル、其他ノ者ニハ補償シナイト云フコトデアリマスガ、然ルニ實際ニ於テハ、其湖ノ排水口ニ漁業ヲシテ居ル者ガアル、立網トカ或ハ其他色々ノ網ヲ以テ、鰻ト云フヤウナモノヲ漁業シテ居ル者ガアル、其漁業者ハ漁業ガ出來ナクナル、例ヘバ湖面ガ今申シタ通り三里ニ一里ノモノデアレバ、方三里、其内一方里半埋メテ、半分ニナツタ、其時ニ——棲息スル漁族ガ湖面外ニ出ルコトガアル、ソレヲ漁業シテ居ル者ガ實際アルノデアリマス、是等ノ者ニハ補償セ

スト云フ意味デアリマスカ、此間ノ御説明ニハ是等ニハ補償センデ宜イト云フコトデアリマシタガ

○堀田政府委員 御承知ノ通り漁業權ナルモノハ、ドノ區域デアルトカ、ドウ云フ漁業ヲスルト云フ其權利ノ内容ガチャント定マツテ居ルノデアリマスカラ、其權利ノ内容ニ屬スル其範圍内ニ於テ、損害ヲ受

ケレバ損害ヲ補償スルダケノコトデアリマシテ、他人ノ有シテ居ッテ漁業權ノ對照タル區域内ノ埋立ニ依ッテ、間接ニ影響ヲ受ケルト云フコトニナリマスレ

バ、ソレハドウモ六條等デハ救済ガ出來ナイノデアリマス、サウ云フ場合ニハ先刻水產局長カラモ御答

シタ通り、實際問題トシテ解決スルノガ適當デアラウト思フノデアリマス

○高木正年君 此六條ニ地方長官ノ裁定ヲ受ケルトアリマスガ、本案施行ノ上ノ狀態ヲ考ヘテ見マスル

ト、地方長官ハ一方ニ企業者ノ埋立ヲ許ス、埋立ヲ許サレタ者ト權利ヲ持ッテ居ル者トノ間ノ損害補償ノ

爭ノ起ッテ場合ニ、之ヲ許シタ府縣知事ノ裁定ヲ受ケルト云フコトハ、多少其間ニ偏頗ナ處分ガ行ハレ

易イ形勢ガ起ルト考ヘル、府縣知事ハ其事業ヲ利益トシテ許シタノデアリマス、其事業ヲ保護スルト云

フ信念ノ自然起ルノハ當然デアリマス、此場合如何ナル所ニ於テ裁定ヲ受ケルガ宜イカト云フト、土地

收用ノ場合ニ於テ、收用審査會ノ様ナモノヲ——ア

ノ通りノ組織デ宜イトハ申シマセスカ、何カ別ノ方

法デ府縣知事若クハ參事會デモ入レタヤウナ一ノ集

合體ノ審査會ニ於テ審査スルト云フヤウナコトニシ

テハドウカト思ヒマスカ、或ハ地方長官ノ裁定ヲ受

クルト云フノヲ、此場合審査會ヲ設ケルコトニシテ、

其審査會ノ組織ハ勅令ニ委託シテモ差支ナイ、サウ云フコトニハ御考付ニハナリマセヌデシタカ、其邊ヲ承リタイト思ヒマス

○堀田政府委員 大部分御意見ノヤウニ承リマシタガ、私共ノ方デハ斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、成程地方長官ハ其企業ヲ一旦許可シタナラバ、ソレハ是非成立タセナケレバナラヌト云フ立場ニア

ルカラ、公平ナル裁定ハ爲シ得ナイト云フコトデアリマスガ、地方長官ハ能ク利害得失ヲ研究シテ、埋立ニ依ル利益ノ程度ト損害ノ程度トヲ究メルノデ、其計算ヲスルニ就テハ全ク公平ニ計算ヲシテ、初メテ

許可ヲ決メルノデアリマスカラ、只今ノ様ナ御心配ハナカラウト思ヒマス、是ハ單ニ公有水面埋立法ニ於テ採用シテ居ルノミナラズ、耕地整理法ニ於テモ、或ハ鑛業法ニ於テモ、同様ナ規定ガアルノデアリマ

シテ、又道路法ニモ同様ナ性質ノ規定ガアルノデアリマス、サウ云フ風ニ已ニ我國ノ立法例ガナツテ居リマスカラ、今此處ニ改メテ土地收用審査會ト云フヤ

ウナ複雜ナル規定ヲ置カナクテモ宜シイト云フ、斯ウ云フ考デアリマス

○樋口伊之助君 モウ十二時ニモナツテ居リマスカラ、質問ハ大抵此位ノコトニシテ御打切ヲ願ヒマシテ、尙ホ委員長ノ御説ノ通りニ一應打合シテヤルト

云フコトニシテ戴キタイト思ヒマス、同ジヤウナ事ヲ聽イテ居リマスルモ、餘リ肩ガ凝リマスカラ……

○高木正年君 是ハ頗ル大切ナ事デアリマシテ、法文ノ上ニ疑ガアリマスカラ、今日ハ御止メニナツテ宜シイガ、討論ノ前ニ御許シテ願ヒマス

○委員長(小山田信藏君) 此法文ニ就テ疑ガアレバ今少シ許シマス

○高木正年君 十六條ノ許可ヲ受ケタル者ガ、地方長官ノ認可ヲ受ケレバ權利ヲ他ニ讓渡スルコトガ出來ルコト云フコトニナツテ居ル、是ガ市町村ガ許可ヲ受ケタル場合、此必要ガ起ルト思フ、例ヘバ埋メテ有利ナ埋立ガ市若クハ町村ノ沿岸ニアル、之ヲ市ノ財源若クハ町村ノ財源ニスベク埋立ノ許可ヲ取ツテ、出來タ上ニ之ヲ公入札若クハ其他ノ方法ニ依ツテ其埋立權ヲ賣却スレバ、町村ニ取ツテハ極メテハ利益ナ一

ツノ財源トナルノデアアル、此ノ十六條ハ唯ダ個人ノ場合ヲ指シテアリマスガ、市町村ニ於テ斯ル事ヲスルト云フコトハ、今日迄ノ實際ニ於テ、例ヘバ東京市ガ芝浦ノ埋立ヲ内務省ノ許可ヲ受ケテヤル、出來上タ上ニ競賣スル、東京市ノ埋立ハ主トシテ財源ニナツテ居ルノデアアル、市町村ガ十六條ノ場合ニサウ云フ許可ヲ受ケル規定ガナイノデアリマスガ、是ハ如何ナモノデアリマスカ

○堀田政府委員 十六條ハ「埋立ノ免許ヲ受ケタル者ハ地方長官ノ許可ヲ受クルニ非サレバ埋立ヲ爲ス權利ヲ他ニ讓渡スルコトヲ得ス」ト規定シテ居リマスカラ、無論市町村モ含マレテ居ルノデアリマス

○高木正年君 一昨日デシタカ、他ノ御質問ガアリマシタガ、徹底シマセヌガ三六條ノ第二項ニ追認ト云フコトガアリマス、許可ヲ得ズシテ埋立ヲシタ時分ニ其事ハ既ニ違反トシテ處罰ノ條項ガ置イテアリマスガ、昨日ノ内務ノ政府委員ノ御答ハ極メテ要

領ヲ得ナイト思フ、莫大ナ金ヲ使ツテ其事ガ無駄ニナルコトハ勿體ナイコトデアルカラ、追認スルト云フ前ニ御答辯デアアルカト思フト、極ク微細ナモノデアツテ、自分ノ地積ナドヲ埋立タトキニハ、如何ニモ事情氣ノ毒デアアルト云フ事デアッタガ、其事ハ暫ク措イ

テ、私共最モ疑ヲ持ツテ居ルノハ、處罰ヲシテ後ニ之ヲ追認スルカモ知レヌ、斯ウ云フ事ガアツト思フガ、甚ダ意味ヲ成シテ居ラス、苟モ許可ヲ受ケズシテ埋立ヲ爲シタ其事ハ犯罪デアルガ、追認ヲ得レバ其事ガ犯罪ヲ取消サレナケレバナラヌ、追認スベキ状態ニアルモノガ、一年以下ノ懲役三千圓以下ノ罰金ニ

處セラレ、此處分ノ係争中ニアツテ、追認スルト自然其罪ハ消滅シナケレバナラヌ、追認スベキ事柄デアアルナラバ、既ニ犯罪ガ消エル譯デアアル、所ガ處分ハスル、併シ其次ニ追認スルト云フコトハ、ドウ云フコトデスカ、斯ウ云フ刑事問題デモ起レバ、三年や四年

カ、ル、濟ンデ後ニ追認シテモ晚イ、ドウシテモ追認ガ先ニナツテ、刑ノ處罰ハ後ニナル事ニナル、追認スレバ犯罪ノ消エルノガ條理上當然デアアル、處罰スルナラバ追認ハ絕對ニ御止メニナツタ方ガ宜イ、何故追認ヲ強イテ御置キニナリマスカ

○堀田政府委員 貴方ニハ分ラヌカ知レヌガ、皆々分ツテ居ルノデス、追認ノ日ニ於テト云フノデスカラ、其犯罪ハ成立ツテ居ル、追認ノ日ニ於テ立派ニ許可ヲ受ケタモノト看做スカラ、追認以前ニ行爲ノアツタトキハ、立派ニ罰則ノ適用ガアルカラ、今ノ御心配ニナルコトハナイ

○高木正年君 ソレハ議論デアアル、口デハサウデアルケレドモ、行ハルベキモノデナイ

○堀田政府委員 默ツテ御聽キ下サイ、マダ答辯中デス、唯今口デハ行ハル、ガ實際行ハレヌト云フ御話デスガ、ソレハ刑罰法規ヲ適用スル人ガ、適用シナイト云フコトデアレバ仕方アリマセヌガ、サウ云フ事ハ判檢事ノ方ニ有リ得ベカラザル事デアリマスノ

デ、ソナナ事マデ言ウタ日ニハ總テノ罰則ハ適用サレヌコトニナリマス、其御心配ハ無カラウト思フ、ソレカラ現ニ民法等ノ規定ニ於テモ、詐欺ニ依ツテ色々ナ事ヲヤッタ場合ニハ、取消スノハ有效ナコトニナツテ居ル、取消シ得ベキ行爲トナツテ居ル、而モ場合ニ依ツテハ其等ノ詐欺ヲ行ヒ、色々ナ法律行爲ヲヤッタ場合ニ、刑法ノ制裁迄モアル、制裁ガアルガ、取消サ

ナケレバ有效ニ成立シテ行ク、ソレト少シモ變リガナイ

○高木正年君 ソレナラバ此問題ヲ他ノ方面カラ考ヘテノ御問トシテ、モウ一度追究シテ見マセウ、一體此法文ガ何ノ爲メニ必要ガアルカト云フコトガ私共疑問デアアル、既ニ處罰ノ規定サヘ置イテアルノニ、之ヲ追認スルコトヲ許スコトハ、他日犯罪ヲ多ク造ラセルコトノ原因ニナル、莫大ナ金儲ヲスルコトハ誰モ希望ヲスルノデアリマス、マカリ間違ヘバ罪ニナルガ、罪ニナツテモ利益ヲ受ケル、斯ウ云フ人ニ僥倖心ヲ起サセル法文ハ無イ方ガ宜イ

○高柳覺太郎君 行政處分ト刑事處分トハ別問題デアルト云フコトデ分ルト思フ

○高木正年君 斯様ナ刑事問題ヲ惹起シ易イモノハ、寧ロ御置ニナラヌ方ガ、行政上宜クハナイカト思フ

○堀田政府委員 孰レガ宜イカト云フコトハ、御意見ノ相違トシマシテ、追認スルコトヲ得ト云フノデ

スカラ、サウ云フ惡意ヲ以テヤッタトキニハ、追認シ
ナケレバ宜イ、恰モ許可ノ權ヲ以テ居ル人間ガ、許否
ヲ決定スルノニ、自由裁量ニ依ッテヤルト同ジヤウ
ニ、怪シカラヌコトヲヤッタカラト云フノデ、追認シ
ナケレバソレデ濟ム、必ズヤラナケレバナラヌコト
ハナイ

○高木正年君 アトハ議論デアルカラ之デ止メマス

○委員長(小山田信藏君) モウ外ニ御質問ハ澤山ア

リマセヌカ、ナケレバ是デ質問ヲ打切ニ致シマセウ

○高木正年君 討論ノ前ニ質問ガアルカ知レマセヌ

○委員長(小山田信藏君) ソレデハ今日ハ是デ散會

致シマス

午後零時二十二分散會

大正十年三月十五日印刷

大正十年三月十六日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局